水戸一高・附属中の探究活動の取り組み

地域から、世界へ。そして自分の問いへ。

中1	中2	中3	高1	高2	高3
地域を知る	日本を知る	世界を知る	問いをつくる	問いを究める	学びを未来へつなぐ
水戸・学校・地域に触れ、身近な「なぜ?」を見つけます。	国内研修を通して、日本の文化や歴史を比較し、問いを広げます。	海外研修や社会体験を通して、世界や社会と出会い、自分の問いを見つけます。	興味・関心を整理し、探究できる「問い」を立てます。	一人ひとりがテーマを設定し、調査・研究を深め。成果をまとめます。	学びを発信し、後輩や社会に還元します。

知る → 問う → 究める → つなぐ

中１　地域を知る

水戸一高や水戸の歴史・自然・文化に触れ、身近な「なぜ？」を見つける。

＃校内ガイドツアー「水戸一の道」（学校公開 、梅まつり）
＃学校の歴史　＃自然　＃卒業生

中２　日本を知る

地域を飛び出し、日本各地の文化や歴史に触れ、比較することで新しい問いを見つける。

#国内研修旅行(関西方面)　#農業体験

中３ 世界を知る そして、自分の問いへ

世界や社会との出会いから「もっと知りたい」を見つける。

#Singapore　#British Hills　#職場体験

高１　問いをつくる

自分の興味、関心を整理し、探究できる「問い」を見つける。

#グループ探究　#校風の理解　#文理融合講座

高２　問いを究める

一人ひとりがテーマを設定し、試行錯誤しながら探究を深める。

#個人探究　#探究力向上セミナー　#キャリア探究対話

学年を越えて、探究がつながる

知道プロジェクト発表会

中学生と高校生が共に探究の成果を
発表し合い、探究の輪をつなぐ。

様式１

県立水戸第一高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和８年度）

学校の教育目標

○真理を愛する学問第一の校風の下、質が高く、活気ある授業や課題研究、社会と連携した教育プログラムを展開し、生徒が切問近思の姿勢で学ぶ学校

○自主自立の精神を重視する自由な校風の下、生徒が何ごとにも主体的に取り組むと共に、中高・学年の枠を超えて切磋琢磨する学校

○至誠一貫・堅忍力行の校是の下、豊かな人間性や最後までやり抜く力を育むと共に、高い目標に挑む生徒をしっかりと支援する学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
（１）興味のある分野から探究課題を１人１テーマ設定し、問いと仮説を立て、調査研究する探究活動を通して、主体的に探究する態度と探究に必要な基礎的なスキルを身に付ける。また、興味のある分野を深く探究することで、進路希望実現にも繋げていく。 （２）「テーマ、問い、仮説のクラス発表」、「分野毎での中間発表」、「知道プロジェクト発表会」、「論文作成」など、様々な活動を通して、プレゼンテーション能力や論理的に表現する力を養う。 （３）他者と協働して学ぶことで、自分では思いつかない切り口、新しい視点を獲得し、探究を深めていくと同時に、コミュニケーション能力、合意形成能力などを高め、将来、社会のリーダーとして必要な資質を養う。	（１）探究活動の取り組みに対する自己評価に対してフィードバックを与えることで、探究活動の質的な向上を促すとともに、自己評価の妥当性を評価する。 （２）すべての活動をポートフォリオとしてまとめておくことで自主的に振り返ることを可能にするとともに、探究活動の継続性・発展性を評価する。 （３）発表活動を「テーマ設定発表」、「中間発表」、「最終発表」の３段階で行い、その信頼性・妥当性・客観性を高めるために自己評価のみならず、他者（グループメンバー・担当者・外部協力者）からの評価も取り入れる。 （４）発表活動は「論文形式」と「プレゼンテーション形式」の両方を評価する。 （５）課題の発見と解決までの一連のプロセスの中で示される「興味・関心・意欲・態度」、「社会や社会のあり方への考察の深度」、「社会に対する貢献度」、「自己の在り方・生き方の変革の度合い」を評価する。	透明度の高い情報共有を目指し、各学年・生徒支援部・養護教諭・スクールカウンセラー・外部指導者等との連携を密にする。必要に応じていじめ防止対策会議を開催するなど、様々な角度からどういう配慮が必要かを検討し、具体的な対応を見出す。さらには、中長期的に発達を支援する方法を探り、生徒の心身の健全な育成を目指す。

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（　　）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
１年 ２単位	「校風の理解講演会」（OB 教員から学ぶ）	外部講師	「校風の理解」では、OB 教諭や社会で活躍している OB による講話を通して、これから学校生活を送っていくにあたり、「自主自立」、「至誠一貫」、「堅忍力行」など本校生が大切にしてきた行動規範を理解し、授業、部活動、委員会活動など学校生活全般における行動の指針を身に付ける。また、水戸一高百年史を用いた調べ学習では、本校の校風、歴史などについて主体的に探究し、自校の価値を深く理解することで、母校への誇りや帰属意識を高める。
	『水戸一高百年史』を中心として調査		
	「校風の理解講演会」（本校卒業生から学ぶ）		
	「発表用スライド作成」		
	『水戸一高百年史』を中心として発表		
	ミニ探究活動①「新書を読む」	なし	「新書を読む」では、夏季休業中を利用して自分が興味のある分野の新書を読み、内容を簡潔にまとめ、各クラスで1人3分の発表を行う。論理的に整理し、他者に伝える力を養うと共に、様々な分野の発表を聞くことで、自らの進路について深く考え、文理選択の参考とする。
	ミニ探究活動②「クラス発表会」		
	「台湾中高生との交流行事」	国立新竹科学園区実験高級中学	「国際探究」では、台湾の国立新竹科学園区実験高級中学の中高生を招き、国際交流を通してコミュニケーション能力を高めると共に、多様な価値観を知り、グローバル化の進む現代において主体的な役割を果たす人間として生きる資質の基礎を培う。
	「探究活動に向けて①～⑪」	外部講師	「探究活動に向けて」では、ミニ探究活動を通して、探究に必要な基礎的態度とスキルを身につける。
	「知道プロジェクト発表会」		

様式１

２年 １単位	「探究力向上セミナー①」（問い、仮説の立て方）	外部講師	「探究活動」では、生徒１人１人が探究課題を設定し、仮説を立て、適切な情報収集・分析を行い、検証するプロセスを繰り返しながら、主体的に問いを立て、問題を解決する能力を養う。また、「知道プロジェクト発表会」で口頭発表や論文作成を行うことで、プレゼンテーション能力や論理的に表現する力を養う。
	「探究力向上セミナー②」（論文の書き方など）		
	「探究活動①～⑬」	助言者として外部講師	
	「課題研究・学級発表会」		
	「知道プロジェクト発表会」	講評者として外部講師	
	「キャリア探究対話」事前準備	外部講師 （社会人）	「キャリア探究対話」では、本校の校風を体現し、社会で活躍している OB を中心に各業界から講師を招き、どのような社会課題に対し、どのように取り組んでいるのかを具体的に知ることで、自らの在り方・生き方について深く考え、進路選択の一助とする。
	「キャリア探究対話①」		
	「キャリア探究対話②」		